

# 香川県の一体的実施

平成24年8月1日事業開始

香川求職者総合支援センターを拠点として、住居や生活に困窮する離職者等の自立に向けた支援に香川県と香川労働局が一体的に取り組む

県

生活・就労相談の実施等



国

職業紹介・職業相談の実施等

## ① 事業内容

- ・ 生活・就労相談員による生活・就労相談業務及び個別就職支援
- ・ 就職支援ナビゲーターによる職業相談・職業紹介

## ② 協定・事業計画等

- ・ 香川労働局長と香川県知事の間で協定を締結
- ・ 数値目標を盛り込んだ事業計画を香川県と香川労働局の間で策定

## ③ 運営協議会

- ・ 事業計画等の策定のため、香川県職員、香川労働局職員をメンバーとする運営協議会を設置

県の生活・就労相談とハローワークの職業相談・職業紹介をワンストップで提供することで、利用者の利便性が向上を図る。

## (1) 実施体制

### 県

- ・生活・就労相談員 2 名を配置

### 国

- ・就職支援ナビゲーター 1 名を配置
- ・職業紹介端末1台を配置

## (2) 事業目標と取組状況

	平成25年度事業目標 (25年4月～26年3月)	取組状況 (平成25年10月末時点)
利用件数	2,433 件	921 件
職業相談件数	1,786 件	728 件
就職件数	115 件	48 件

# 一体的実施による就職成功例

男性:40歳代 希望職種:配達員  
直近の状況:正社員(営業職)

## ① 抱える課題

- ・前職では、営業職の正社員として20年以上勤務していたが、事故を起こしたことから自己都合により退職。
- ・母親の介護や事故の罰金により、家賃の支払いも滞るほどに生活に困窮していた。
- ・長期勤務していた会社を急に退職することになったうえ、経済的にも困窮しており、生活面での不安を抱えての来所であった。

## ② 支援内容・ポイント・経過

- ・家賃、光熱費などの支払いに困窮していたことから、就職相談と併せて、生活維持のために住宅手当、総合貸付など公的支援の活用を勧めた。
- ・地域の労働市場動向の理解が不十分であったため、具体的な求人をもとに情報提供と相談を繰り返し行った。
- ・失業期間が長くなるにつれて精神的に疲れが見えていたため、応募の際には履歴書の添削を行うなど不安の軽減につとめた。

## ③ 結果

- ・食品製造会社のパート配送員として採用となった。  
(1日5時間×週6日勤務)  
※支援期間 8カ月

## ④ 就職支援ナビゲーターの所感

- ・生活面の安定を図りながら就職支援を行うことにより、本人も就職意欲を維持することができた。

男性:50歳代 希望職種:軽作業  
直近の状況:正社員(土木作業員)

## ① 抱える課題

- ・前職を退職したことで社宅アパートを退去することとなり、住居の確保が必要。
- ・両親が同じ市内にいるが音信不通で頼ることができず、また、家財も処分したため経済面で困窮している。

## ② 支援内容・ポイント・経過

- ・雇用保険の受給が見込めるものの、給付制限期間3カ月間の生活ができないことから、住居及び生活支援と就職相談を併行して実施。
- ・早期就職を目指して派遣求人に応募したが、住所が定まらないことで不採用になったこともあり、生活保護申請により生活安定と住宅確保を図ることとした。
- ・就職相談では、過去の経験を活かせず何件か応募、不採用を繰り返したため、トライアル雇用制度による紹介を行った。

## ③ 結果

- ・トライアル雇用制度により、清掃作業員としてビルメンテナンス会社に採用見込みとなった。 ※支援期間 4カ月

## ④ 就職支援ナビゲーターの所感

- ・前職の離職後、早い時期から生活面の安定を図りながら就職支援を行ったこと、また、トライアル雇用制度により安心して未経験の職種に応募できたことで就職につながった。